

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	3月13日の外部評価実施日には身体拘束対象者がいたが、4月からの身体拘束未実施加算算定に伴い、センサーマットを購入したり、対応を見直したことで身体拘束対象者はいない。	身体拘束ゼロを継続できるよう、定期的に研修を行い再確認する。	4月からの算定要件に沿い、定期的な身体拘束の研修を行い、職員への意識づけを行う。また、月1回、身体拘束廃止委員会を開催し、リスクがある方への対応について話し合い、ケアの統一を行う。	3ヶ月
2	35	年2回の防火訓練は行っているが、近年、地震や水害などの災害も発生していることを踏まえると、訓練の内容としては不十分である。また、避難場所は公民館となっているが、認知症入居者と考ええると検討が必要である。	年1回は地震などを想定した訓練を行うようにする。	地震や水害などの災害のマニュアルを再確認し、整備する。災害時の避難場所については法人関係者に相談し、避難場所の確保に努める。	9ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。